

事務事業及び予算の執行実績

（令和５年度分「一部、令和６年度分を含む」）

静岡県立観音山少年自然の家

目 次

事務事業の概要	1
事業の根拠法令調	13
預金調	14
郵券等受払調	15
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	17
委託料に関する調	19
負担金支出調	27
公有財産調	29
借地借家等調	31
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	32
主要備品調	33
職員調	34
職員の年齢調	35
健康管理	35

事務事業の概要

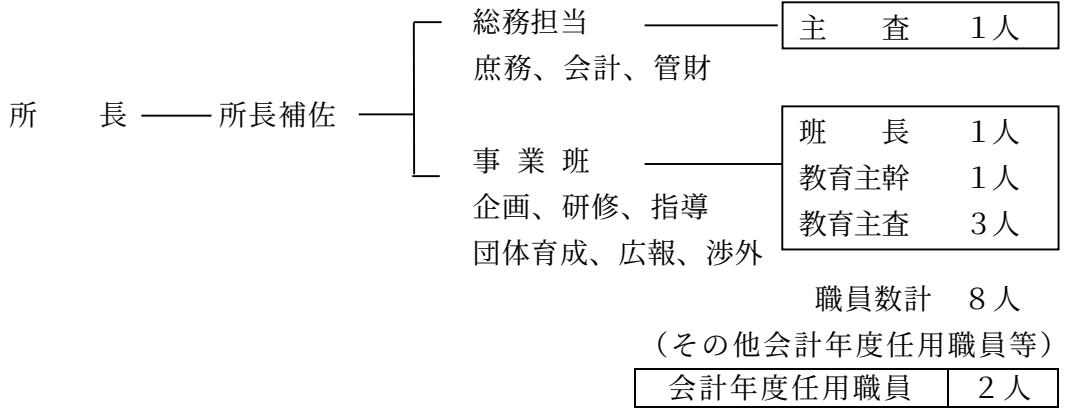
1 概況

(1) 沿革

観音山少年自然の家は、緑濃い観音山の大自然の中で少年が自然に親しみ、また、集団宿泊生活を通して、規律・協同・友愛・奉仕等の精神を体得させるための施設として開設された。

- 昭和 47 年 9 月 1 日 着工
- 昭和 48 年 3 月 25 日 完成
- 昭和 48 年 6 月 15 日 開所
- 昭和 49 年 3 月 25 日 新水源地完成
- 昭和 49 年 3 月 25 日 民俗資料館「かんの」完成
- 昭和 50 年 3 月 25 日 倉庫完成
- 昭和 52 年 12 月 5 日 屋外便所完成
- 昭和 53 年 2 月 20 日 取り付け道路排水工事完成
- 昭和 53 年 6 月 30 日 第二キャンプファイヤー場造成完成
- 昭和 55 年 3 月 20 日 取付道路舗装工事完成
- 昭和 56 年 5 月 15 日 多目的ホール完成
- 昭和 59 年 3 月 20 日 汚水処理施設完成
- 昭和 61 年 1 月 23 日 厨房改造工事完成
- 昭和 61 年 7 月 25 日 屋外洗い場完成
- 昭和 61 年 12 月 23 日 受水槽上屋完成
- 平成 3 年 2 月 15 日 開所 20 周年記念誌「観音山の 20 年」刊行
- 平成 10 年 9 月 16 日 リーダー室改修工事完成
- 平成 13 年 2 月 28 日 新受水槽完成
- 平成 18 年 10 月 1 日 耐震補強工事のため 3 月 31 日まで休所
- 平成 19 年 3 月 15 日 耐震補強工事完成
- 平成 21 年 2 月 20 日 民俗資料館屋根改修工事完成
- 平成 26 年 3 月 20 日 オイルタンク設置工事完成

(2) 組織図



2 運営方針

少年期とは、限らない可能性を秘めた時期である。好奇心をもって様々なことに挑戦し、失敗や挫折を経験しながらも希望を失わず果敢に挑戦し続けることで、自己の可能性を自ら引き出し、大きく開花させることができる。

このような時期に自然体験活動を経験させることは、自然を理解し、自然や人に対する慈しみの心を養うばかりでなく、自主性や社会性、協調性を育み、子どもの成長過程における重要な位置付けと考えている。

また、自然体験活動を通して、「人間としての基礎・基本」を習得するとともに、試行錯誤を重ねて目的を達成した成就感や満足感は、さらなる主体的な取組や問題解決のための意欲や能力を育み、これは、「生きる力」の育成とも結びつくことである。

これらの視点に立ち、「少年自然の家のねらい」を達成するために、時代の変化に対応した魅力や特色に満ちた質の高い活動プログラムの企画・立案や安心・安全な施設の運営に努めている。

3 教育目標

観音山の豊かな自然の中での体験を通して、次のような少年の育成に努める。

- (1) 自然の美しさ、優しさ、厳しさに感動し、自然に親しむ心や自然への畏敬の念をもった子供達を育てる。
- (2) 自律性、協調性を身に付け、奉仕の心と思いやりの心をもった子供達を育てる。
- (3) 自主性、創造性を身に付け、たくましい心と体をもった子供達を育てる。

4 計画(教育目標)の具現化

教育振興基本計画の基本目標である「有徳の人」づくりの実践の場として、利用者の立場に立った「観音の心」で、「観音山は感動山、観音山に失敗はない」などの子どもたちへの教示の合言葉を用いて、親切丁寧でぶれない指導・支援を行う。

また、安心・安全を基盤として、重点目標や数値目標の達成にむけ取り組む。

<令和5年度>

(1) 利用団体（学校等）に対する指導の充実

ア 利用団体研修会の開催

入所予定の幼・保育園・小学校・中学校の教員を対象にした研修会を2回開催した。研修会では、自然体験の意義や活動プログラムの説明をしたり、野外活動を実際に体験してもらった。また、活動計画の立案や安全対策に関する支援についても研修内容に加えた。

事業名	期 日	内 容	対象	参加人数
利用団体研修会	4月14日 8月22日	活動プログラムの説明及び 野外活動体験 等	本所を利用する学校等の教職員	66 人 64

イ 事前打ち合わせの実施

利用日の一ヶ月前までに利用団体と事前打ち合わせを実施した。利用者の立場に立ち、具体的なアドバイスをを行い、より安全に活動の目標を達成するための支援を行うことができた。

ウ 令和5年度の学校等の利用状況

区分	学校種別等	団体数	延べ利用人数
学校関係	幼・保育園	27 園	2,162 人
	小学校	95 校	14,954
	中学校	4 校	1,025
少年団体等	少年団	5 団体	917

エ 利用者の満足度

利用者アンケートの結果、「満足」及び「ほぼ満足」は100%であった。

(2) 主催事業の充実

ア 小学生向けの宿泊イベント

観音山の特色を生かした創意ある企画を立案、実施することができた。小学生の発達段階に応じて実施した「冒険王国 in 観音山」「観音山アドベンチャーキャンプ」「観音山もりもりキャンプ」は、活動プログラムにストーリー性を持たせ、子どもたちが興味を持続できるよう工夫した。様々な自然活動の中で、子どもたちは仲間と協力し合い頑張り抜く姿が見られ、ひと回り逞しく成長することができた。

事業名	期 日	対象	内 容	参加人数
もりもりキャンプ	2月24～25日 3月 2～ 3日	小学校 1～3 年生	森探検、夜探検、山探検	80 人 79
アドベンチャーキャンプ	11月25～26日	小学校 4～6 年生	森林探検、夜間ハイキング	79
冒険王国 in 観音山	6月17～18日 8月 8～12日	小学校 5・6 年生	探検活動、野外炊事 等	67 68

イ 家族向けイベント

所が開所して 50 年の節目を迎えることから、山頂登山や沢登りの体験ができる「ぷらっと観音」を例年よりも増やして開催した。そのほかの家族向けイベントでは「ファミリーデー」においては、日帰りで9月と12月にそれぞれ2日間ずつ開催し、9月には、竹水鉄砲作りや流しうどん、12月には、年末に使う門松作りやクリスマスパーティーを行った。家族で協力しながら創作活動を行うことで、家族の絆を深める貴重な時間を提供することができた。また、「子どもフェスティバル」や「わくわくホリデー」などのイベントでも利用者の拡大を目指した。

事業名	期 日	対象	内 容	参加人数
子どもフェスティバル	4月22日 4月23日	親子及びその家族	ハイキング、ゲーム・ビンゴ大会	71 人 68
ファミリーデー	9月 2日	親子及びその家族	竹水鉄砲作り、流し	47
	9月 3日		うどん、ハイキング	33
	12月16日 12月17日		門松作り、クリスマスパーティー等	65 50
わくわくホリデー	10月14日 10月15日	親子及びその家族	草木染め、ハイキング	24 36
	2月10日 2月11日		五平餅作り、ハイキング	44 48
観音山ハイキング	4月15日 2月18日	一般	山頂等ハイキング	22 18
ぷらっと観音	5月13日 5月14日	一般	山頂登山、ハイキング	19 0
	8月26日 8月27日		沢登り、沢遊び	15 60

	11月 4日 11月 5日 1月20日 1月27日		ハイキング	25 40
			山頂登山、ハイキング	4 16
夜間ハイキング	7月16日 9月16日	一般	ハイキング(夜景等)	50 42

ウ 参加者の満足度

参加者からのアンケートによると「満足」及び「ほぼ満足」との回答が多く寄せられ、満足度は99.5%であった。内容に関する貴重な意見は次年度の主催事業に反映させていく。

(3) 野外活動指導者の育成

青少年野外教育スタッフ養成事業として実施した「リーダースクール in 観音山」には、延べ99人の大学生が参加した。大学生は、活動を通して野外活動に関する知識・技能を習得したり、人との繋がりや関わりの意義を感じるなど、大きく成長することができた。

また、「観音山アウトドア教室」には、25人の中・高校生が参加し、地域社会で活躍する野外活動リーダーとして必要な知識・技術を習得することができた。

事業名	期 日	対 象	資格取得	内 容	参加人数
リーダースクール in 観音山	6月 3～ 4日 6月17～18日 8月 8～12日	大 学 生 社 会 人	中級	「冒険王国 in 観音山」「アドベンチャーキャンプ」に参加 野外活動・安全管理等の講義・実技講習 等	33 人 33 33
観音山アウトドア教室	1月 6～ 8日	中 学 生 高 校 生	初級	安全対策、ハイキング、クラフト、講習 等	25
ボランティア やまびこ会研修会	4月22～23日 2月25日 3月 3日	中 学 生 高 校 生 大 学 生		観音山のボランティアスタッフとしての技術の習得	10 33 32

(4) 利用の促進

利用者数や利用者層の拡大を図るために積極的な広報活動やHPの充実に努め、その成果として延べ利用者数は22,691人となり令和4年度と比べて増加した。

区 分	取 組 内 容
広報活動	・報道機関へのイベント情報の提供 ・HPによる主催事業等の詳細情報の迅速な提供 ・インスタグラムによる情報の発信
学校等訪問	市町教育委員会及び学校訪問等（イベントチラシの配布等）

(5) 施設・設備の安全対策

ア 案内表示や地点番号など活動に支障がないかエリアの点検整備をした。

イ がけ崩れなど危険箇所の確認や倒木の確認処理、スズメバチの駆除を行い、安全で快適な施設の維持を図った。

ウ 安全点検を定期的に行い、危険箇所の早期発見と迅速な修理等により、利用者の安全・安心に努めた。

エ 除草作業を定期的に行い、マダニ等の害虫予防を図った。

(6) 災害への対策

ア 入所時にオリエンテーションを行い、危険予知能力や回避能力を育てた。

イ 万が一を想定した防災訓練や避難訓練を重ねて行うことにより、非常災害発生時において迅速な対応がとれるよう努めた。

ウ 利用者の事故防止のため、様々な情報を集めて的確に利用者へ伝えた。

(7) 施設内の衛生管理の徹底

定期的な安全対策マニュアルの見直しなど衛生管理体制を再確認し、再発防止に取り組んだ。

施設内の消毒、換気の徹底に取り組んだ。

不断の見直し・改善を行い衛生管理の徹底と施設利用者の安全・安心の確保に努めた。

ア 職員の安全衛生意識の向上

(7) 嘔吐等発症者発生時対応マニュアルの整備

(イ) 職員に対する安全衛生講習会の実施

(ウ) 嘔吐物処理キットの整備と処理手順の実技研修を継続実施

<令和6年度>

(1) 利用団体（学校等）に対する指導の充実

ア 利用団体研修会の開催

入所予定の幼・保育園・小学校・中学校の教員を対象にした研修会を2回開催した。研修会では、自然体験の意義や活動プログラムの説明をしたり、野外活動を実際に体験してもらった。また、活動計画の立案や安全対策に関する支援を行った。

事業名	期 日	内 容	対 象	参加人数
利用団体研修会	4月19日 8月26日	活動プログラムの説明及び 野外活動体験 等	本所を利用する学 校等の教職員	55 人 72

イ 事前打ち合わせの実施

利用日の一ヶ月前までに利用団体と事前打ち合わせを実施した。利用者の立場に立ち、具体的なアドバイスをし、より安全に活動の目標を達成するための支援を行うことができた。

ウ 令和6年度の学校等の利用状況

区分	学校種別等	団体数	延べ利用人数
学校関係	幼・保育園	18 園	1,466 人
	小学校	85 校	12,733
	中学校	8 校	2,550
少年団体等	ボーイスカウト等	12 団体	1,174

エ 利用者の満足度

利用者アンケートの結果、「満足」及び「ほぼ満足」は100%であった。

(2) 主催事業の充実

ア 小学生向けの宿泊イベント

観音山の特色を生かした創意ある企画を立案、実施することができた。小学生の発達段階に応じて実施した「冒険王国 in 観音山」「アドベンチャーキャンプ」「もりもりキャンプ」は、活動プログラムにストーリー性を持たせ、子どもたちが興味を持続できるよう工夫した。様々な自然活動の中で、子どもたちは仲間と協力し合い頑張り抜く姿が見られ、ひと回り逞しく成長することができた。なお、「冒険王国 in 観音山」については、南海トラフ地震臨時情報の発令を受け、メインキャンプ3日目に活動を中止した。

事業名	期 日	対 象	内 容	参加人数
もりもりキャンプ	2月22～23日 3月 1～ 2日	小学校 1～3 年生	森探検、夜探検、山探検	73 人 77
アドベンチャーキャンプ	11月23～24日	小学校 4～6 年生	森林探検、夜間ハイキング	77

冒険王国 in 観音山	6月15～16日 8月 7～ 9日	小学校 5・6 年生	探検活動、野外炊事 等	69 71
-------------	----------------------	---------------	-------------	----------

イ 家族向けイベント

家族向けイベントの充実を図るため、昨年度は日帰りイベントだった「ファミリーデー」の一部を宿泊のイベントに見直し実施した。9月には、灯籠作りや飯ごう炊さん、12月には、クリスマスリースや門松作りを行った。家族で協力しながら創作活動を行うことで、家族の絆を深める貴重な時間を提供することができた。また、「子どもフェスティバル」や「わくわくホリデー」などのイベントでも利用者の拡大を目指した。

事業名	期 日	対象	内 容	参加人数
子どもフェスティバル	4月27日 4月28日	親子及びその家族	ハイキング、ゲーム・ビンゴ大会	66 人 70
ファミリーデー	9月14～15日	親子及びその家族	灯籠作り、キャンドル、飯ごう炊さん	37
	12月14～15日		クリスマスリース・門松作り等	29
	12月 22 日		門松作り	49
わくわくホリデー	10月20日 2月 9日	親子及びその家族	焼杉作り、ハイキング	31
			こけ玉作り、ハイキング	52
観音山ハイキング	4月14日	一般	山頂等ハイキング	40
	2月16日		ハイキング	9
ぷらっと観音	5月12日	一般	山頂等ハイキング	54
	9月 1日		台風 10 号接近により中止	—
	11月 3日		ハイキング	18
	1月25日		山頂等ハイキング	7
夜間ハイキング	7月14日	一般	ハイキング(夜景等)	22
	10月 5日		クマ目撃情報に伴い中止	—

ウ 参加者の満足度

参加者からのアンケートによると「満足」及び「ほぼ満足」との回答が多く寄せられ、満足度は98.8%であった。内容に関する貴重な意見は次年度の主催事業に反映させていく。

(3) 野外活動指導者の育成

青少年野外教育スタッフ養成事業として実施した「リーダースクール in 観音山」には、延べ75人の大学生等が参加した。参加者は、活動を通して野外活動に関する知識・技能を習得したり、人との繋がりや関わりの意義を感じるなど、大きく成長することができた。

また、「アウトドア教室」には、26人の中・高校生が参加し、地域社会で活躍する野外活動リーダーとして必要な知識・技術を習得することができた。

事業名	期 日	対象	資格取得	内 容	参加人数
リーダースクール in 観音山	6月 1～ 2日 6月15～16日 8月 7～ 9日	高 校 生 大 学 生 社 会 人	中級	「冒険王国 in 観音山」「アドベンチャーキャンプ」に参加 野外活動・安全管理等の講義・実技講習 等	26 人 24 25

アウトドア教室	1月11～12日	中 学 生 高 校 生	初級	安全対策、ハイキング 等 断水により2日目で中断	26
ボランティア やまびこ会研修会	4月27～28日 2月23日 3月2日	中 学 生 高 校 生 大 学 生		観音山のボランティアスタ ッフとしての技術の習得	12 24 23

(4) 利用の促進

利用者数や利用者層の拡大を図るために積極的な広報活動やHPの充実に努めたが、9月に活動エリア内においてクマの目撃情報があったことから、入所のキャンセルが相次ぎ延べ利用者数は19,944人と前年度と比べ大幅に減少した。

区 分	取 組 内 容
広報活動	・報道機関へのイベント情報の提供 ・HPによる主催事業等の詳細情報の迅速な提供 ・インスタグラムによる情報の発信
学校等訪問	市町教育委員会及び学校訪問等（イベントチラシの配布等）

(5) 施設・設備の安全対策

ア 案内表示や地点番号など活動に支障がないかエリアの点検整備をした。

イ がけ崩れなど危険箇所の確認や倒木の確認処理、スズメバチの駆除を行い、安全で快適な施設の維持を図った。

ウ 安全点検を定期的に行い、危険箇所の早期発見と迅速な修理等により、利用者の安全・安心に努めた。

エ 除草作業を定期的に行い、マダニ等の害虫予防を図った。

(6) 災害への対策

ア 入所時にオリエンテーションを行い、危険予知能力や回避能力を育てた。

イ 万が一を想定した防災訓練や避難訓練を重ねて行うことにより、非常災害発生時において迅速な対応がとれるよう努めた。

ウ 利用者の事故防止のため、様々な情報を集めて的確に利用者へ伝えた。

(7) 施設内の衛生管理の徹底

定期的な安全対策マニュアルの見直しなど衛生管理体制を再確認し、再発防止に取り組んだ。
施設内の消毒、換気の徹底に取り組んだ。

不断の見直し・改善を行い衛生管理の徹底と施設利用者の安全・安心の確保に努めた。

ア 職員の安全衛生意識の向上

(ア) 嘔吐等発症者発生時対応マニュアルの整備

(イ) 職員に対する安全衛生講習会の実施

(ウ) 嘔吐物処理キットの整備と処理手順の実技研修を継続実施

5 実績（成果）

令和6年度は、南海トラフ地震臨時情報の発令や、台風10号の影響による林道の土砂崩れ、活動エリア内でのクマの目撃情報等、予測困難な事態が頻発し利用者数が大幅に減少した。急激な少子化が進む中、本所の施設は築50年以上が経過し老朽化に加え、利用者数が、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準まで回復していない状況から、県教育委員会は将来的に本所を廃止する方針を打ち出した。一方で、本所での体験活動は、子どもたちにとって非常に成果の高い活動になっていることは各校のアンケートからもはっきりしており、子どもたちの困難克服及び集団協力を目的とした学校活動のねらいに大きく寄与し一人一人の成長を促す活動意義は、非常に高いものであると確信している。

(1) 年度別・月別利用者数

月 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
26年度	1,798	4,210	4,554	5,745	1,976	3,828	5,397	4,422	3,860	2,595	737	864	39,986
27年度	2,555	5,271	5,090	6,213	1,911	3,168	5,824	3,947	3,284	2,578	1,200	1,193	42,234
28年度	2,901	3,837	5,487	6,728	2,014	4,244	4,620	4,033	3,379	2,191	993	935	41,362
29年度	2,742	2,611	4,674	6,162	1,654	3,801	4,718	4,213	1,768	937	1,112	867	35,259
30年度	1,942	3,411	4,472	5,435	2,388	2,969	4,399	5,201	2,306	1,846	1,099	538	36,006
元年度	2,026	2,833	4,101	4,665	1,943	3,254	3,519	4,547	2,511	2,347	1,009	80	32,835
2年度	0	0	32	659	1,056	2,126	2,973	2,651	2,907	2,677	1,353	174	16,608
3年度	335	1,120	2,762	1,884	0	58	1,776	3,344	2,300	1,154	92	0	14,825
4年度	472	2,377	3,258	2,374	699	1,760	2,238	3,025	2,713	1,849	796	190	21,751
5年度	369	2,219	3,420	1,919	1,489	2,170	1,896	3,341	2,294	2,471	772	331	22,691
6年度	623	2,651	2,590	2,381	714	856	1,520	2,594	1,417	2,141	2,003	454	19,944
計	15,763	30,540	40,440	44,165	15,844	28,234	38,880	41,318	28,739	22,786	11,166	5,626	323,501
割合	4.9	9.4	12.5	13.7	4.9	8.7	12.0	12.8	8.9	7.0	3.5	1.7	100

(2) 対象者別利用者数

区分	令和5年度						令和6年度					
	団体数		延人数		実人数		団体数		延人数		実人数	
	数	割合	人数	割合	人数	割合	数	割合	人数	割合	人数	割合
中学生	4	2.4	1,025	4.5	575	5.0	8	5.3	2,550	12.8	1,152	11.8
小学生	95	55.9	14,954	65.9	6,750	59.1	85	55.9	12,733	63.8	5,616	57.8
勤 労 青 年												
大学生												
高校生	1	0.6	26	0.1	13	0.1	1	0.7	34	0.2	17	0.2
少 年 団 体	5	2.9	917	4.1	363	3.2	12	7.9	1,174	5.9	615	6.3
幼稚園	27	15.9	2,162	9.5	1,577	13.8	18	11.8	1,466	7.4	1,087	11.2
青少年指導者	6	3.5	366	1.6	180	1.6	6	3.9	258	1.3	140	1.4
成 人	5	2.9	1,068	4.7	602	5.3	1	0.7	7	0.0	7	0.1
その他	27	15.9	2,173	9.6	1,352	11.9	21	13.8	1,722	8.6	1,087	11.2
計	170	100	22,691	100	11,412	100	152	100	19,944	100	9,721	100

(3) 宿泊日数別、対象者別利用者数

<令和5年度>

区 分	日帰り		1泊2日		2泊3日		3泊4日		4泊5日		5泊6日		6泊7日		計	
	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数
中 学 生	1	137	3	888											4	1,025
小 学 生	5	766	64	8,242	26	5,946									95	14,954
勤労青年																
大 学 生																
高 校 生			1	26											1	26
少年団体	1	76	3	336		9	1	496							5	917
幼 稚 園	14	1,002	13	1,160											27	2,162
青少年指導者	2	93	3	108					1	165					6	366
成 人	3	136	2	932											5	1,068
そ の 他	21	800	4	862	1	96		120	1	295					27	2,173
計	47	3,010	93	12,554	27	6,051	1	616	2	460					170	22,691

<令和6年度>

区 分	日帰り		1泊2日		2泊3日		3泊4日		4泊5日		5泊6日		6泊7日		計	
	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数
中 学 生	1	38	5	1,702	2	810									8	2,550
小 学 生	7	586	50	6,600	28	5,547									85	12,733
勤労青年																
大 学 生																
高 校 生			1	34											1	34
少年団体	2	104	9	982			1	88							12	1,174
幼 稚 園	11	714	7	752											18	1,466
青少年指導者	2	47	3	136	1	75									6	258
成 人	1	7													1	7
そ の 他	13	548	7	892	1	282									21	1,722
計	37	2,044	82	11,098	32	6,714	1	88							152	19,944

6 評 価・改 善

利用者からの意見を取り入れ、毎年度末には本所の運営、主催事業や利用者支援などソフト面及び施設設備などのハード面について、所員が利用者の立場に立って、様々な観点から評価を行った。

反省点や改善点を基に翌年度の本所運営に、可能なものから反映させ利用者へのサービス向上を図った。

<令和5年度>

課 題	対 策 (改 善)
安 全 管 理 の 徹 底	・安全対策マニュアルの検証・改訂 ・活動エリアの点検を定期・随時・緊急の点検を実施 ・嘔吐物処理研修 ・避難訓練 ・沢、山における救助訓練 ・感染症対策の実施 - 宿泊室の定員 31 名から 25 名 - 風呂の定員を 32 名から 20 名 - こまめな換気、消毒 等
指 導 の 充 実	・四季折々の自然や利用団体のニーズに合った指導や支援 ・実践の中での経験値の伝承 ・事前打合せでの利用団体(学校等)への適切な指導・助言
閑散期の利用拡大と施設稼働率の向上	・主催事業の充実 ・HPの迅速アップを図り、新規利用者とリピーターを拡大 ・県民だよりでの宣伝を拡大 ・SDOを活用した広報の拡大
利 用 者 層 の 拡 大	・主催事業など広報活動の推進（HPの充実など） ・学校、利用団体、関係機関へのイベントチラシの配布 ・関係機関や地域人材と連携した主催事業内容の見直しと改善 ・Instagramによる情報の発信

<令和6年度>

課 題	対 策 (改 善)
安 全 管 理 の 徹 底	・安全対策マニュアルの検証・改訂 ・活動エリアの点検を定期・随時・緊急の点検を実施 ・嘔吐物処理研修 ・避難訓練 ・沢、山における救助訓練 ・感染症対策の実施 - 宿泊室の定員 25 名 - 風呂の定員を 20 名 - こまめな換気、消毒 等
指 導 の 充 実	・四季折々の自然や利用団体のニーズに合った指導や支援 ・実践の中での経験値の伝承 ・事前打合せでの利用団体(学校等)への適切な指導・助言
閑散期の利用拡大と施設稼働率の向上	・主催事業の充実 ・HPの迅速アップを図り、新規利用者とリピーターを拡大 ・県民だよりでの宣伝を拡大 ・SDOを活用した広報の拡大
利 用 者 層 の 拡 大	・主催事業など広報活動の推進（HPの充実など） ・学校、利用団体、関係機関へのイベントチラシの配布 ・関係機関や地域人材と連携した主催事業内容の見直しと改善 ・Instagramによる情報の発信 ・ふじのくに電子申請システムを活用した申込みの簡略化

7 職員について

(1) 異 動

(令和6年度末)

職名 区分	所 長	所 長 補 佐	主 査	主 任	班 長	教 育 主 幹	教 育 主 査	教 育 主 任	計
転 出 者	1人			1人			1人	1人	4人
転 入 者	1人		1人			1人	1人		4人
差引増減	0人		1人	▲1人		1人	0人	▲1人	0人

(2) 現員数

(令和6年4月1日現在)

性別	所 長	所 長 補 佐	主 査	班 長	教 育 主 幹	教 育 主 査	教 育 主 任	計
男	1人	1人	1人	1人	1人	3人		8人
女								0人
計	1人	1人	1人	1人	1人	3人		8人

(3) 健 康

健康管理については、定期健康診断受診を促し、疾病の早期発見と健康意識の向上に努めた。

なお、本所は野外活動を中心とした業務や宿直もあり、日ごろから所員の健康管理には細心の注意を払っている。

(4) 職員研修

社会教育施設職員としての専門性と指導力を向上させるため、職員研修計画のとおり推進した。

ア 事業班会を毎月1回以上開催し、様々な活動における問題点を提起し、その解決と共通理解に努めた。また、職員が相互に講師となり、活動プログラムの指導技術の向上を図った。

イ 主催事業での散策ルート等の下見を実施し、事前に把握することで安全対策等指導技術の向上を図った。

ウ 感染症予防に関し、嘔吐処理訓練を行い、危機管理意識の向上を図った。

エ 野外活動での事故を想定して救助訓練を実地し、救助・救命の知識・技能の向上を図った。

オ チェーンソーの技能講習会に参加し、労働安全衛生意識と伐木等の技能の向上を図った。

8 防災対策について

業務の特殊性に鑑み、平素の火災予防及び発災時における施設利用者の安全確保に重点を置いた防災対策を講じている。消防計画書に基づき防災訓練等を行い、職員の防災意識を高めている。

なお、地震対策についても、日頃の準備行動も盛り込んだマニュアルを整備し、利用者の安全確保に努めている。

さらに、備蓄食料は、宿泊定員200人の3日分を整備し、適切な管理の元で不足の事態に備えている。

<令和5年度>

防災（救助）訓練及び安全管理の一環とした訓練を実施し、所員の危機管理意識の高揚に努めた。

実施日	防災訓練	消防訓練	救助（防犯）訓練
4月1日		消防設備点検、使用方法及び避難経路の確認	
4月12日		夜間宿直時を想定した火災避難訓練	嘔吐物処理訓練

4月20日	・地震関連情報等一斉配信 システム確認訓練 ・参集状況確認訓練		
4月29日			応急処置訓練・救助(バックボード)訓練 救助訓練(沢活動時)
6月3日		大学生のリーダー研修会で予告なしの避難訓練	
7月16日			救出訓練(救出・救急車養成マニュアルを活用した机上訓練)
8月29日	・静岡県総合防災訓練 ・被害状況想定訓練		
1月16日	・被害状況想定訓練		

<令和6年度>

防災(救助)訓練及び安全管理の一環とした訓練を実施し、所員の危機管理意識の高揚に努めた。

実施日	防災訓練	消防訓練	救助(防犯)訓練
4月1日		消防設備点検、使用方法及び避難経路の確認	
4月12日		夜間宿直時を想定した火災避難訓練	嘔吐物処理訓練
4月18日			応急処置訓練・救助(バックボード)訓練
4月25日	・地震関連情報等一斉配信 システム確認訓練 ・参集状況確認訓練		
5月22日			救助訓練(沢活動時)
6月1日		大学生のリーダー研修会で予告なしの避難訓練	
8月22日	・静岡県総合防災訓練 ・被害状況想定訓練		
1月17日	・被害状況想定訓練		

利用者に対し、火災や地震発生時における避難の心得、非常口の位置、避難経路、避難先等について説明及び確認を行うとともに、夜間の防災対策にも協力を呼びかけている。

□□□□□□□

事業の根拠法令調

事業名	根拠法令
静岡県立観音山少年自然の家設置事業	社会教育法（第 6 条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第 30 条） （第 31 条第 2 項） 静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する 条例 静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する 規則 静岡県立観音山少年自然の家管理運営及び利用に関する規程 静岡県立観音山少年自然の家利用要項

□□□□□□□

預 金 調

(令和7年2月28日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口 座 名 義 人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行 小林支店	無利息型 普通預金	0060482	静岡県立観音山少年自然の家 資金前渡者 所長 井浪 秀一	0	給与入金用 (法定外控除)
静岡銀行 細江支店	無利息型 普通預金	0243523	(自振口)静岡県立観音山少年自然の家 資金前渡者 所長 井浪 秀一	0	電気料金・ 電話料金用
残 高 合 計				0	

□□□□□□□

郵 券 等

区 分	種 類	令和5年度					
		繰 越		受 入		払 出	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
郵 券	10 円券	191	1,910		0	145	1,450
	16 円券						
	84 円券	106	8,904	350	29,400	421	35,364
	94 円券	66	6,204	250	23,500	242	22,748
	100 円券	125	12,500		0	72	7,200
	110 円券						
	120 円券	92	11,040	100	12,000	85	10,200
	140 円券	101	14,140	50	7,000	115	16,100
計			54,698		71,900		93,062

受 払 調

(令和7年2月28日現在)

(単位：枚、円)

令和6年度								摘 要
繰 越		受 入		払 出		差引現在高		
枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
46	460	200	2,000	69	690	177	1,770	連絡郵送用
	0	70	1,120	5	80	65	1,040	連絡郵送用
35	2,940	100	8,400	135	11,340	0	0	連絡郵送用
74	6,956	50	4,700	58	5,452	66	6,204	連絡郵送用
53	5,300	100	10,000	55	5,500	98	9,800	連絡郵送用
	0	100	11,000		0	100	11,000	連絡郵送用
107	12,840		0	70	8,400	37	4,440	連絡郵送用
36	5,040	150	21,000	93	13,020	93	13,020	連絡郵送用
／	33,536	／	58,220	／	44,482	／	47,274	

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					令和4年度	令和5年度	左のうち、4年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,007,600	
	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費		31,529,695	
計					33,640,490	32,537,295	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		0	
計					2,449,700	0	0
(16) 公有財産 購 入 費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費		0	
計					665,500	0	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,910	
	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費		65,000	
計					29,030	66,910	0
(21) 補償、補填 及び賠償金						0	
計					0	0	0

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年2月28日現在)

節 名	会計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
						うち、5年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	215,600	0
	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費	29,257,450	0
計					29,473,050	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購 入 費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費					0	0
計					0	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費	31,560	0
計					31,560	0
(21) 補償、補填 及び賠償金					0	0
計					0	0

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契約金額			契 約 締結方法
				当初額	変 更 増減額	計	
1	(事務関係) 警備業務委託	総合警備保障 株式会社静岡支社	円 217,800	円 217,800	円 0	円 217,800	随契
2	庁舎清掃業務委託	東海ビル管理 株式会社	5,182,845	5,170,000	0	5,170,000	一般
3	自家用電気工作物 保安管理業務委託	有限会社 森下電気管理事務所	178,200	165,000	0	165,000	随契
4	消防用設備等 保守点検業務委託	東海消防技研 株式会社	882,750	660,000	0	660,000	随契
5	浄化槽保守点検 業務委託	東名興産株式会社	493,020	493,020	0	493,020	随契
6	防鼠防虫業務委託	株式会社マルマ	165,000	165,000	0	165,000	随契
7	水質検査業務委託	一般財団法人 静岡県生活科学検査 センター	662,200	629,090	0	629,090	随契

関 する 調

(令和5年度)

契約期間	支 出 年月日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘要
3. 4. 1 ～6. 3.31	6. 4.30	円 (145,200) 72,600	所長室・事務室の夜間機械警備 A：総延床面積 119m ²	R3長期 随契1号 (少額)
5. 4. 1 ～6. 3.31	5. 5.31 5. 6.30 5. 7.31 5. 8.31 5. 9.29 5.10.31 5.11.30 5.12.27 6. 1.31 6. 2.29 6. 3.29 6. 4.30 小計	389,400 389,400 451,000 389,400 389,400 763,400 389,400 451,000 389,400 389,400 389,400 389,400 5,170,000	庁舎の日常清掃及び定期清掃 A：日常清掃(毎日) 1,816.3m ² 日常清掃(週1回) 527.9m ² 定期清掃(ガラスクリーニング：年1回) 351.5m ² 定期清掃(床面洗浄ワックス：年1回) 1,810.1m ² ゴミ処理(月1回) 雨樋清掃(年2回)	
5. 4. 1 ～6. 3.31	6. 4.26	165,000	電気工作物の保守点検 N：需要設備容量 125kVA 受電電圧 6,400V 非常用予備発電装置 20kVA	随契1号 (少額)
5. 4. 1 ～6. 3.31	5.11.20 6. 4.30 小計	404,800 255,200 660,000	消防設備の機能点検及び総合保守点検 N：自動火災報知設備、消火栓設備、消火器、非常 放送設備、誘導灯設備、自家発電設備、防火戸 シャッター連動装置、火災通報装置 1式 消防設備点検 点検回数：機器点検 年1回 総合点検 年1回 防火設備点検 点検回数：年1回	随契1号 (少額)
5. 4. 1 ～6. 3.31	5.10.31 6. 4.30 小計	246,510 246,510 493,020	浄化槽維持管理及び放流水の水質検査 N：処理方式：合併処理槽 接触ばっ気(流量調整有) 容 量：242人槽 1基 35t/日 点検回数：2週間に1回 年26回実施	随契1号 (少額)
5. 4.14 ～6. 3.31	6. 4.30	165,000	鼠・衛生害虫駆除 N：鼠・害虫駆除 業務回数：巡回点検・生息調査 年12回 害虫駆除(薬剤散布等) 年2回	随契1号 (少額)
5. 4.14 ～6. 3.31	5.10.31 6. 4.30 小計	126,940 502,150 629,090	飲料水等の水質検査 N：一般飲料水水質検査(11項目) 11件 一般飲料水水質検査(51項目) 1件 原水全項目水質検査(39項目) 1件 「食品の製造等に用いられる水の基準」 に関する検査(2項目) 1件 原湯、上がり用湯水質検査(6項目) 2件 浴槽水水質検査(4項目) 2件 合併処理浄化槽放流水水質検査(4項目) 1件	随契1号 (少額)

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契約金額			契 約 締結方法
				当初額	変 更 増減額	計	
8	空調・衛生等設備 保守点検業務委託	日管株式会社	1,171,500	1,089,000	0	1,089,000	指名
9	定期点検業務委託	有限会社 山口一級建築士事務 所	99,000	99,000	0	99,000	随契
10	産業廃棄物 収集・運搬及び 処分業務委託	東名興産株式会社	104,500	104,500	0	104,500	随契
11	有害物質含有調査 業務委託	ユーロフィン 日本総研株式会社	704,000	693,000	0	693,000	随契
12	調理（配膳） 業務委託	株式会社 エムシーフードサー ビス	23,149,185	23,148,500	92,400	23,240,900	随契
	合 計	12件	33,010,000	32,633,910	92,400	32,726,310	

関 する 調

(令和5年度)

契約期間	支 出 年月日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘要
5. 4. 1 ～6. 3.31	5.10.27	347,600	給湯設備の保守点検 N：給湯用ボイラー 1基 点検回数：年1回 貯水槽の清掃 N：元水槽 25m ³ 、未処理受水槽 56m ³ 受水槽 36m ³ 、高架水槽 10m ³ (各1基) 清掃回数：年2回 ガスヒートポンプ設備等の保守点検 N：ガスヒートポンプ 4基 エンジン系、冷却水系、燃料系・冷媒系、その他 点検回数：年1回	
	5.11.30	75,900		
	6. 2.29	317,900		
	6. 4. 5	347,600		
	小計	1,089,000		
6. 1.22 ～6. 3.15	6. 4. 5	99,000	建築基準法第12条に基づく定期点検(建築設備) A：本館棟他の建築設備点検(2,794.80m ²)	随契1号 (少額)
6. 3. 1 ～6. 3.28	6. 4.30	104,500	グリストラップ清掃、収集・運搬及び処分 (1回)	随契1号 (少額)
5. 9.26 ～5.12.22	6. 1.25	693,000	建築物建材の有害物質含有状況調査業務 N：多目的ホール、高架水槽 アスベスト 1検体 PCB 2検体 鉛・六価クロム 2検体	随契1号 (少額)
5. 4. 1 ～6. 3.31	5. 5.31	1,004,566	入所者に提供する給食業務 N：食堂の管理運営 1式 (入所者から徴収)	随契2号 (不適)
	5. 6.30	2,048,186		
	5. 7.31	2,724,706		
	5. 8.31	1,613,146		
	5. 9.29	2,002,936		
	5.10.31	2,063,861		
	5.11.30	1,956,586		
	5.12.27	2,588,471		
	6. 1.31	2,116,951		
	6. 2.29	2,667,866		
	6. 3.29	1,316,481		
	6. 4.30	1,093,329		
	小計	23,197,085		
		32,537,295		

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契約金額			契 約 締結方法
				当初額	変 更 増減額	計	
1	(事務関係) 警備業務委託	総合警備保障 株式会社静岡支社	円 217,800	円 217,800	円 0	円 217,800	随契
2	庁舎清掃業務委託	東海ビル管理 株式会社	5,593,500	5,593,500	0	5,593,500	一般
3	自家用電気工作物 保安管理業務委託	有限会社 森下電気管理事務所	184,800	184,800	0	184,800	随契
4	消防用設備等 保守点検業務委託	東海消防技研 株式会社	882,750	660,000	0	660,000	随契
5	浄化槽保守点検 業務委託	東名興産株式会社	493,020	493,020	0	493,020	随契
6	防鼠防虫業務委託	株式会社マルマ	165,000	165,000	0	165,000	随契
7	水質検査業務委託	一般財団法人 静岡県生活科学検査 センター	675,840	639,870	0	639,870	随契

関 する 調

(令和6年度)
(令和7年2月28日現在)

契約期間	支 出 年月日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘要
6. 4. 1 ～9. 3.31		円	所長室・事務室の夜間機械警備 A：総延床面積 119m ²	R6長期 随契2号 (不適)
6. 4. 1 ～7. 3.31	6. 5.31	420,000	庁舎の日常清掃及び定期清掃 A：日常清掃(毎日) 1,816.3m ² 日常清掃(週1回) 527.9m ² 定期清掃(ガラスクリーニング：年1回) 351.5m ² 定期清掃(床面洗浄ワックス：年1回) 1,810.1m ² ゴミ処理(月1回) 雨樋清掃(年2回)	
	6. 6.28	420,000		
	6. 7.31	420,000		
	6. 8.30	420,000		
	6. 9.30	420,000		
	6.10.31	888,500		
	6.11.29	420,000		
	6.12.26	505,000		
	7. 1.31	420,000		
	7. 2.28	420,000		
	小計	4,753,500		
6. 4. 1 ～7. 3.31			電気工作物の保守点検 N：需要設備容量 125kVA 受電電圧 6,400V 非常用予備発電装置 20kVA	随契1号 (少額)
6. 4. 1 ～7. 3.31	6.10.31	404,800	消防設備の機能点検及び総合保守点検 N：自動火災報知設備、消火栓設備、消火器、非常 放送設備、誘導灯設備、自家発電設備、防火戸 シャッター連動装置、火災通報装置 1式 消防設備点検 点検回数：機器点検 年1回 総合点検 年1回 防火設備点検 点検回数：年1回	随契1号 (少額)
	小計	404,800		
6. 4. 1 ～7. 3.31	6.10.31	246,510	浄化槽維持管理及び放流水の水質検査 N：処理方式：合併処理槽 接触ばっ気(流量調整有) 容 量：242人槽 1基 35t/日 点検回数：2週間に1回 年26回実施	随契1号 (少額)
	小計	246,510		
6. 4.15 ～7. 3.31			鼠・衛生害虫駆除 N：鼠・害虫駆除 業務回数：巡回点検・生息調査 年12回 害虫駆除(薬剤散布等) 年2回	随契1号 (少額)
6. 4.19 ～7. 3.31	6.10.31	131,340	飲料水等の水質検査 N：一般飲料水水質検査(11項目) 11件 一般飲料水水質検査(51項目) 1件 原水全項目水質検査(39項目) 1件 「食品の製造等に用いられる水の基準」 に関する検査(2項目) 1件 原湯、上がり用湯水質検査(6項目) 2件 浴槽水水質検査(4項目) 2件 合併処理浄化槽放流水水質検査(4項目) 1件	随契1号 (少額)
	小計	131,340		

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契約金額			契 約 締結方法
				当初額	変 更 増減額	計	
8	空調・衛生等設備 保守点検業務委託	日管株式会社	1,171,500	1,089,000	0	1,089,000	指名
9	定期点検業務委託	有限会社 山口一級建築士事務 所	99,000	99,000	0	99,000	随契
10	産業廃棄物 収集・運搬及び 処分業務委託	東名興産株式会社	115,500	115,500	0	115,500	随契
11	産業廃棄物 収集・運搬及び 処分業務委託	株式会社リサイクル クリーン	51,700	51,700	0	51,700	随契
12	調理（配膳） 業務委託	株式会社 エムシーフードサー ビス	29,714,827	29,714,795	0	29,714,795	随契
	合 計	12件	39,365,237	39,023,985	0	39,023,985	

関 する 調

(令和6年度)
(令和7年2月28日現在)

契約期間	支 出 年月日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘要
6. 4. 1 ～7. 3.31	6.11.29	347,600	給湯設備の保守点検 N：給湯用ボイラー 1基 点検回数：年1回 貯水槽の清掃 N：元水槽 25m ³ 、未処理受水槽 56m ³ 受水槽 36m ³ 、高架水槽 10m ³ (各1基) 清掃回数：年2回 ガスヒートポンプ設備等の保守点検 N：ガスヒートポンプ 4基 エンジン系、冷却水系、燃料系・冷媒系、その他 点検回数：年1回	
	6.11.29 7. 1.31	75,900 317,900		
	小計	741,400		
7. 1.15 ～7. 3.14			建築基準法第12条に基づく定期点検(建築設備) A：本館棟他の建築設備点検(2,794.80m ²)	随契1号 (少額)
7. 3. 4 ～7. 3.28			グリストラップ清掃、収集・運搬及び処分 (1回)	随契1号 (少額)
7. 3. 4 ～7. 3.28			コンテナ3.5m ² 、収集・運搬及び処分 (1回)	随契1号 (少額)
6. 4. 1 ～7. 3.31	6. 5.31	1,548,689	入所者に提供する給食業務 N：食堂の管理運営 1式 (入所者から徴収)	随契2号 (不適)
	6. 6.28 6. 7.31 6. 8.30 6. 9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7. 1.31 7. 2.28	2,891,704 2,833,944 2,294,959 1,878,974 1,792,339 2,123,249 2,938,789 2,096,529 2,796,324		
	小計	23,195,500		
		29,473,050		

□□□□□□

負担金支出調

(令和5年度)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担 金額	支 出 年月日
1	特別教育講習会 受講料 (チェーンソー作業)	林材業労災防止 協会静岡県支部	労働安全衛生 法59条第3項 及び労働安全 衛生規則36条	チェーンソーを用いて の業務に従事するため 労働省令で定める特別 教育の受講が必要	円 20,030 20,030	5. 4.28 5.10. 5
2	東海北陸地区 青少年教育施設 協議会会費	東海北陸地区 青少年教育施設 協議会	東海北陸地区 青少年教育施 設協議会 会則第10条	青少年教育施設の運営 の研究・職員研修等の 向上を図ることに必要 な事業	5,000	5. 8.23
3	静岡県青少年 教育施設協議会 会費	静岡県青少年 教育施設協議会	静岡県青少年 教育施設協議 会会則第9条	青少年教育施設の運営 の研究等の向上を図る ことに必要な事業	5,000 900	5. 8.23 6. 1.24
4	特別教育講習会 受講料 (小型ボイラー取扱)	日本ボイラー協会 静岡支部	労働安全衛生 法59条第3項 及び労働安全 衛生規則36条	小型ボイラーの取扱業 務に従事するため労働 省令で定める特別教育 の受講が必要	15,950	5.11.30
計		4 件			66,910	

□□□□□□

負担金支出調

(令和6年度)
(令和7年2月28日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担 金額	支 出 年月日
1	特別教育講習会 受講料 (チェーンソー作業)	林材業労災防止 協会静岡県支部	労働安全衛生 法59条第3項 及び労働安全 衛生規則36条	チェーンソーを用いて の業務に従事するため 労働省令で定める特別 教育の受講が必要	円 21,010	6. 5. 2
2	静岡県青少年 教育施設協議会 会費	静岡県青少年 教育施設協議会	静岡県青少年 教育施設協議 会会則第9条	青少年教育施設の運営 の研究等の向上を図る ことに必要な事業	5,000 550	6. 6.26 7. 1.29
3	東海北陸地区 青少年教育施設 協議会会費	東海北陸地区 青少年教育施設 協議会	東海北陸地区 青少年教育施 設協議会 会則第10条	青少年教育施設の運営 の研究・職員研修等の 向上を図ることに必要 な事業	5,000	6.10.29
計		3 件			31,560	

□□□□□□

公 有 財 産 調

(令和5年度)

区 分	令和5年3月31日現在		増		減		令和6年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台 価 帳 格	数量又は面積	台 価 帳 格	数量又は面積	台 価 帳 格	数量又は面積	台 価 帳 格	
行政財産		千円 8,935		千円		千円 5,383		千円 3,552	
立木竹	本 8	170					本 8	170	
建 物	m ² $\frac{2,243.96}{3,051.38}$	4,723				4,723	m ² $\frac{2,243.96}{3,051.38}$	0	
工作物	個 48	4,042				660	個 48	3,382	
公有財産に 準ずるもの		246						246	
電 話 加入権	件 4	246					件 4	246	

□□□□□□

公 有 財 産 調

(令和 6 年度)
(令和 7 年 2 月 28 日現在)

区 分	令和 6 年 3 月 3 1 日現在		増		減		令和 7 年 2 月 2 8 日現在		摘要
	数量又は面積	台 価 帳 格	数量又は面積	台 価 帳 格	数量又は面積	台 価 帳 格	数量又は面積	台 価 帳 格	
行政財産		千円 3,552		千円		千円		千円 3,552	
立木竹	本 8	170					本 8	170	
建 物	m ² $\frac{2,243.96}{3,051.38}$	0					m ² $\frac{2,243.96}{3,051.38}$	0	
工作物	個 48	3,382	3				個 51	3,382	
公有財産に 準ずるもの		246						246	
電 話 加入権	件 4	246					件 4	246	

□□□□□□

借地借家等調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約 期間	所有者又 は契約者 氏 名	用途
				台帳	現 況		単価	年 額			
1	土地	少年自然 の家 建物敷地	浜松市浜名区 引佐町東久留女木 字観音山	国有林 157ロ 林小班外	建物敷地	m ² 8,920	円	円	自 6. 4. 1 至 9. 3.31	天竜森林 管 理 署	建 物 敷地外
		堰堤及び 水槽敷地		国有林 151に 林小班外	堰堤及び 水槽敷地	163					
		導 水 管 敷 地		国有林 153に 林小班外	導 水 管 敷 地	717					
		導 水 管 支え敷地		国有林 153へ 林小班外	導 水 管 支え敷地	8					
		野外活動 遊 具 場 敷 地		国有林 156イ 林小班	野外活動 遊 具 場 敷 地	7,800					
		水槽敷地		国有林 157ほ 林小班	水槽敷地	185					
		管理路敷 地		国有林 157イ 林小班	管理路敷 地	221					
		園地敷地		国有林 157イ 林小班外	園地敷地	1,135					
		水道管敷 地		国有林 158ろ 林小班	水道管敷 地	23					
		管理道路 敷 地		国有林 157ハ 林小班	管理道路 敷 地	4,068					
		排 水 管 敷 地		国有林 158ほ 林小班	排 水 管 敷 地	57					
		椎茸原木 置場敷地		国有林 159ろ 林小班	椎茸原木 置場敷地	460					
	小計					23,757		663,500			
2	土地	公衆便所 敷 地	浜松市浜名区 引佐町東久留 女木100	国有林 156い 林小班外	公衆便所 敷 地	16	—	0	自 3. 4. 1 至 8. 3.31	天竜森林 管 理 署	公衆便 所敷地
	小計					16		0			
合 計						23,773		663,500			

□□□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和 6 年度)

(令和 7 年 2 月 28 日現在)

区 分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)					
				令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
長期継続 契 約	警備業務委託	所長室・事務室 の夜間機械警備 (契約日) 令和 3 年 4 月 1 日	217,800	72,600	72,600	72,600			
	警備業務委託	所長室・事務室 の夜間機械警備 (契約日) 令和 6 年 4 月 1 日	217,800				72,600	72,600	72,600
	複写機賃貸借	電子複写機の借 り上げ (契約日) 令和 5 年 4 月 1 日	792,792			264,264	264,264	264,264	

□□□□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	1-13	食品食器洗浄機	食品食器洗浄機	毎日(年間200日) 食器洗浄用(厨房)	平成30年3月	円 4,320,000
2	1-13	調理器具	立体炊飯器 コメットカウ CRA2-150N	毎日(年間200日) 調理用(厨房)	令和3年3月	767,800
3	1-13	調理器具	ガスオープンレンジ コメットカウ XYS-1260A	毎日(年間200日) 調理用(厨房)	令和5年1月	665,500
4	6-99	その他の諸機器	ウッドチップパー	月3回(年間33日) 歩道用チップ材	平成31年3月	565,000
5	1-99	その他の庁用器具	卓上丁合機 デュプロ DFC-100LII	月5回(年間60日) しおり・資料作成用	令和4年2月	495,000
6	1-13	食品保存庫	食品保存庫	毎日(年間365日) 食品保存用(厨房)	平成22年3月	375,900
7	1-13	その他の厨房器具	ガスフライヤー 23L×2槽1050×600	毎日(年間200日) 調理用(厨房)	令和元年11月	366,300
8	3-3	映写機用器具	スプリング式スクリーン	毎日(年間200日) 食堂にて使用	平成31年3月	356,400
9	10-7	鍵盤楽器	ピアノ	(年間50回) 学校紹介等使用	昭和61年12月	344,000
10	1-5	印刷機	印刷機 リソグラフ RZ67	(年間200日) しおり・資料作成用	平成20年1月	336,000
11	1-13	その他の厨房器具	配膳台	毎日(年間200日) 食事提供用(食堂)	平成2年7月	320,000
12	1-13	その他の厨房器具	配膳台	毎日(年間200日) 食事提供用(食堂)	平成2年7月	320,000
13	3-3	その他の視覚用 再生用機器	プロジェクター ELMO EDP-2	毎日(年間200日) 入所時使用	平成13年10月	312,900
14	2-2	放送装置	放送装置	毎日(年間200日) 入所時等使用	平成元年9月	312,000
15	1-13	冷蔵(凍)庫	冷蔵(凍)庫	毎日(年間365日) 食品保存用 (ピロティー)	平成29年6月	297,000
16	1-13	冷蔵(凍)庫	冷蔵(凍)庫	毎日(年間365日) 食品保存用(厨房)	平成27年10月	297,000
17	3-3	映写機用器具	手動スクリーン オーエス SMP-150VN-K3	毎日(年間200日) 入所時使用	令和3年3月	285,780
18	1-99	その他の庁用器具	その他の庁用器具 展示ボード	毎日(年間365日) 展示物掲示用	平成9年3月	275,628
19	1-13	調理器具	調理器具 立体炊飯器	毎日(年間200日) 食事提供用(厨房)	平成22年3月	264,600
20	4-99	その他の 医療衛生機器	自動体外式除細動器 日本光電 AED-3100	緊急時使用(玄関)	令和3年11月	264,000

□□□□□

職 員 調

(令和7年4月1日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務 分担	住 所	勤務 年数	摘 要
1	所 長	大橋 英之	総括	□ □ □	□ □ □□□	□□□□□□□□□ □□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□
2	所長補佐 (事)	野田 孝幸	総括	□ □ □	□□□	□□□ □□□□□□□□□□ □□
3	主 査 (事)	河井 義治	庶務 会計 管財	□ □ □	□□□	□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□
4	班 長	石上 大輔	指導	□ □ □	□□□	□□ □□□□
5	教育主幹	神谷 武志	指導	□ □ □	□□□	□□□□□□□ □□□□□□□
6	教育主査	林 卓哉	指導	□ □ □	□□□	□□□□□□□ □□□□□□□□□□
7	教育主査	中松 夏輝	指導	□ □ □	□□□	□□
8	教育主査	竹内 大樹	指導	□ □ □	□□□	□□□□□□□ □□□□□□□
平 均 年 数					□□□	

整理 番号	職 名	氏 名	事務 分担	住 所	勤務 年数	摘 要
1	会計年度任用 職員	丸山 文男		□ □ □	□ □ □□□	
2	会計年度任用 職員	山本 智子		□ □ □	□□□	

□□□□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和7年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20 歳未満	0 人	
20 歳以上 30 歳未満	0 人	
30 歳以上 40 歳未満	2 人	
40 歳以上 50 歳未満	4 人	
50 歳以上 56 歳未満	1 人	
56 歳以上 61 歳未満	1 人	
61 歳以上	0 人	
計	8 人	平均年齢 44.6 歳

様式第2号－3

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 9人 職員数 9人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	1人
D 2		要経過観察	2人
D 3		医 療 不 要	5人
区 分 者 計			8人
未 区 分 者 数			0人
合 計			8人

(1) 管理区分 A～C2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
イ 新規採用 人
ウ 自己都合による未受診 人
エ その他 () 人